

| 教科 | | 技術・家庭 | |
|---------|---|---|------|
| | | 指導の重点事項 | 努力事項 |
| 指導計画の作成 | ◎ 段階的、系統的な題材配列 | ◎ 題材で育成する資質・能力を明確にし、段階的、系統的に題材を配列するとともに、指導すべき内容に漏れがないよう指導内容確認表を用いて確認する。 ○ 小・中学校及び高等学校の関連する教科等とのつながりを考慮し、3学年間を見通した指導計画を作成する。 | |
| | ◎ 考えたり説明したりする学習活動の充実 ◎ 実践的・体験的な活動の充実 | ◎ 自分の生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図る。 ○ コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、実習等における情報の収集・整理や実践結果の発表などを行うことができるように工夫する。 ◎ 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、基本的な概念などの理解を深めるとともに、実践的・体験的な活動を充実する。 ○ 家庭や地域社会、企業などとの連携を図り、子どもが身に付けた知識・技能などを日常生活に活用できるよう配慮する。 | |
| 指導の工夫 | | | |
| 評価の充実 | ◎ 主体的な学習を促す評価の工夫 | ◎ 自己評価や相互評価を学習過程に効果的に位置付け、子どものよい点や進歩の状況を積極的にとらえ、主体的な学習を促す評価となるように工夫する。 | |

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2「教材との出会い・学習課題の把握」 **ポイント3「見通し」**

中2 家庭分野「幼児と触れ合おう」

既習の知識・技能や生活経験を基に生活を見つめ、それに関わる調査等をもとに課題を設定する。

「キッズ体験」や「キッズウォッチング」から、どんなことに気付きましたか。

折り紙をやっている子もいたけど、手先はどのくらい器用なのかな。

仮説を立てて試行したり、比較検討したりして、解決策を見通し、計画を立てる。

手先の器用さを調べるとしたら、どんな遊びをしたら、調べられるでしょう。

新聞紙を使って、一緒にいろいろなものを作りながら遊んで調べてみたらどうだろう。

* 方法の見通し、結果の見通しの観点から遊びの計画が立てられるように指導する。

ポイント5「まとめ・振り返り 新たな学び」

体験から感じ取ったことや気付いたことを自分の言葉でまとめ自己評価したり、整理・考察したことを相互評価したりする活動を取り入れる。

こども園での体験や保育士から得た情報、収集した資料をもとに、友達と話し合いながらキッズレポートにまとめ、発表し合ひましょう。

自分が調べた手先の機能も個人差があったけど、友達の調べた言葉の発達にも個人差が見られたぞ。

次に幼児と触れ合うときには、個人差も考えて遊びを準備しよう。

* レポートをまとめる過程で、体験と言葉とが結び付き、実感を伴った理解へとつながるように指導する。

